SY16-1　本郷町　様　現況

2016年08月24日14:02
一般診断・現状

耐震診断書

【耐震診断法の適用範囲について】
・本ソフトは、3階建てまでの在来軸組構法、伝統的構法、枠組壁工法の木造住宅、
　立面的な混構造（1階部分が鉄骨造または鉄筋コンクリート造）の建物の木造部分を想定して作成されています。
※耐震診断法は、比較的矩形な総2・3階建てを想定して作成されています。そのため、2階が二つに分かれている建物や、
　平面形状がコの字型など、著しく不整形な建物について、本プログラムで診断することは不適切です。
※下記の建物は適用範囲外です。
　丸太組構法、旧38条認定および型式適合認定によるプレハブ工法住宅、平面的な混構造、スキップフロア
　学校校舎、体育館、幼稚園舎などの大規模木造建築物
【本ソフトの適用範囲について】
・本ソフトでの耐震診断は、階高3.4m程度までの建物について適用して下さい。

【結果を読むに当たっての注意事項】
・本診断書における在来軸組構法・枠組壁工法診断時の「その他の耐震要素の耐力Qe」は、有開口壁長より算出しています。

一級建築士
岡本　和久
調査日 28年8月8日

総合評価

◆建物概要

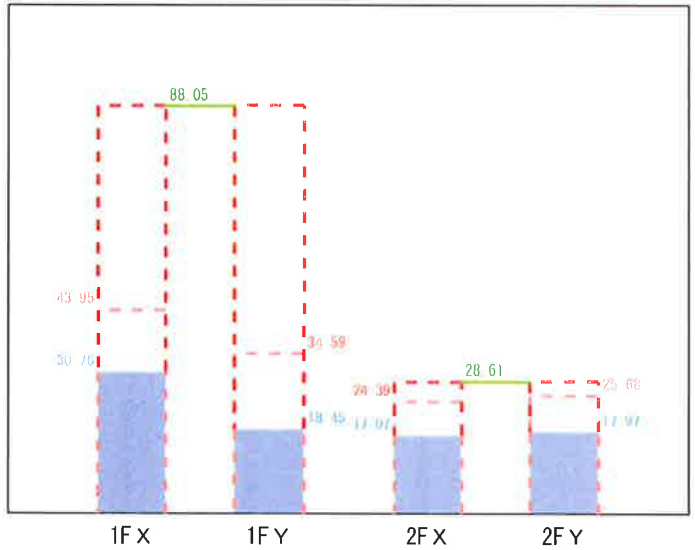
建物名称		SY16-1　本郷町　様邸			
建築地		富山県富山市本郷町27－14	建物階数		2
備考			診断の方法		方法１
構法		在来軸組構法	低減係数Ｅ		偏心率
１階構造種別		木造	軟弱地盤割増係数		1.0
外壁材種		胴縁-ラスシートモルタル塗り	竣工年月		1979年2月(昭和54年)
基礎仕様		無筋コンクリート	築年数		築10年以上
柱頭柱脚接合部		Ⅲ,Ⅳほぞ差し、釘打ち、かすがい等	建物重量		重い
下屋部低減係数		平屋建てもしくは最上階として計算する	混構造割増係数		1.0
必要耐力計算表		精算法（各階の床面積比を考慮した方法）	積雪		1.5
床仕様		Ⅱ　火打ち＋荒板(想定床倍率0.5以上1.0未満)	地域係数Z		1.0
床面積	２階	28.98㎡　(8.76坪)	形状割増	２階	6m以上
	１階	79.91㎡　(24.17坪)	短辺の長さ	１階	4m以上6m未満

■上部構造の評価

階	方向	壁･柱の耐力 Qu (kN)	配置 eKfl	劣化度 dK	保有耐力(kN) edQu=Qu･eKfl･dK	必要耐力 Qr(kN)	評点 edQu/Qr	判定
2F	X	24.39	1.0000	0.7000	17.07	28.61	0.59	倒壊する可能性が高い ×
	Y	25.68	1.0000	0.7000	17.97	28.61	0.62	倒壊する可能性が高い ×
1F	X	43.95	1.0000	0.7000	30.76	88.05	0.34	倒壊する可能性が高い ×
	Y	34.59	0.7621	0.7000	18.45	88.05	0.20	倒壊する可能性が高い ×

あなたの家の強さ(保有･必要耐力)

単位：ｋＮ
Qu　必要耐力　壁･柱の耐力　保有耐力



総合評価

上部構造評点のうち最低の値	評点	判定
0.20	1.5以上	◎ 倒壊しない
	1.0以上～1.5未満	○ 一応倒壊しない
	0.7以上～1.0未満	△ 倒壊する可能性がある
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い

無積雪時の評点	0.30	＞	積雪時の評点	0.20

注意事項：地盤・基礎

地盤･地形･基礎	対策	注意事項
地盤:よい・普通		特に問題はありません。
地形:平坦		特に問題はありません。
基礎:無筋コンクリート	健全	アンカーボルト、引き寄せ金物が十分な性能を発揮できない場合があります。

SY16-1　本郷町様邸　　診断書作成日時:2016年08月24日14:02　Ver. 1.0.5　　物件ｺｰﾄﾞ:17　　現状　0.20

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

地盤・基礎

地盤	対策	記入欄	注意事項
よい/普通		○	特に問題はありません。
悪い			
非常に悪い（埋立地、盛り土、軟弱地盤）	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

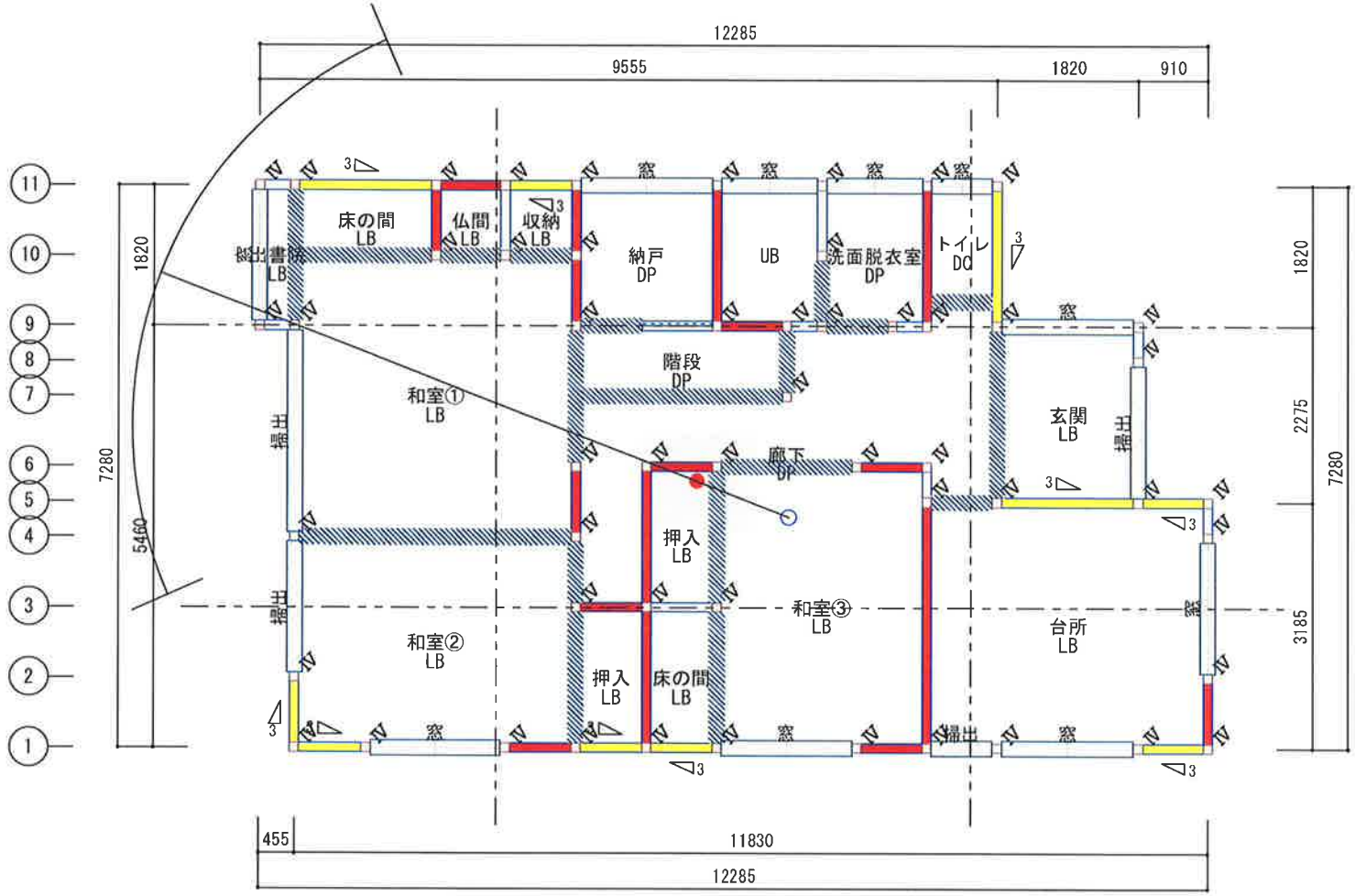
地形	対策	記入欄	注意事項
平坦・普通		○	特に問題はありません。
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積		
	特別な対策を行っていない		

基礎形式		記入欄	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全		・アンカーボルト、引き寄せ金物が十分な性能を発揮できない場合があります。 こうした箇所には補強が必要です。 ・地震時に、基礎が曲げ破壊し上部構造の性能を十分に発揮できない可能性があります。 鉄筋コンクリート基礎などを添えて基礎を補強する必要があります。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全	○	
	軽微なひび割れが生じている		
	ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固め・底盤		
	足固めなし		
その他（ブロック基礎等）			

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

1階平面図



凡例
DC:胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)[1.1kN/m]
DP:【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)[0.9kN/m]
DL:胴縁-ラスシートモルタル塗り[1.5kN/m]
LB:【診断専用】ラスボード[1kN/m]
3:【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち[1.9kN/m]

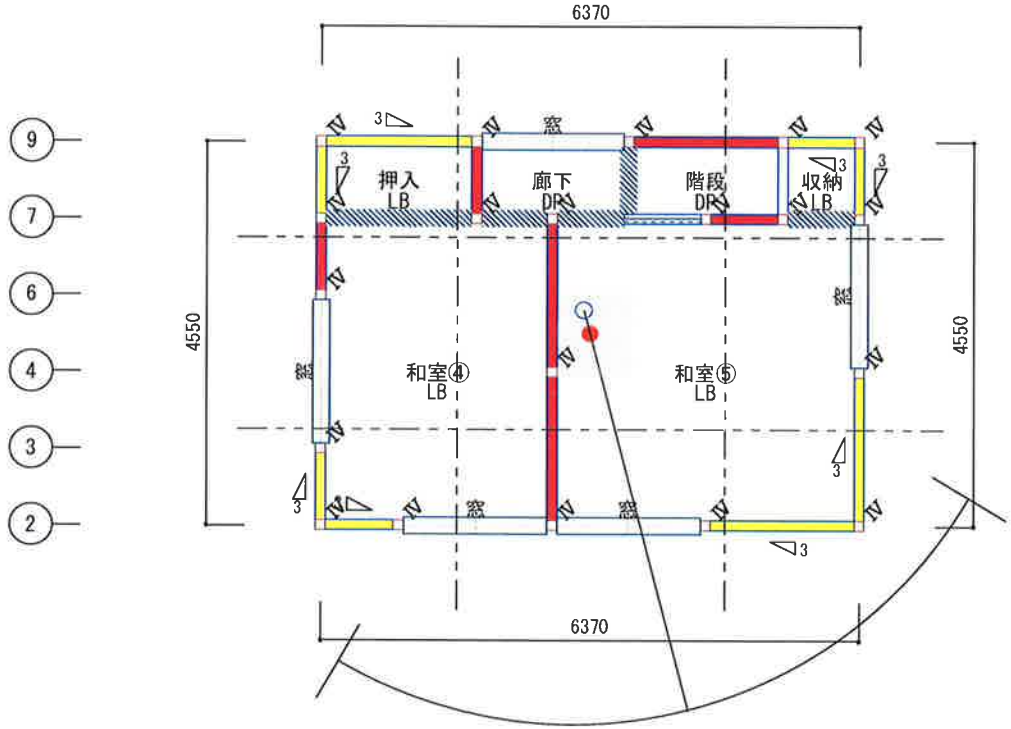
壁基準耐力（kN/m）
赤 3.0未満
黄 3.0～5.0未満
青 5.0～7.0未満
黒 7.0～

SY16-1 本郷町様邸　診断書作成日時:2016年08月24日14:02 Ver. 1.0.5　物件ｺｰﾄﾞ:17　現状 0.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人 日本建築防災協会 木耐博士N P評価13-W

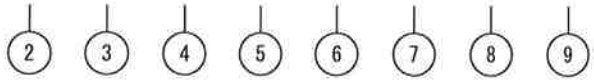
２階平面図



Y

凡例
DL:胴縁-ラスシートモルタル塗り[1.5kN/m]
LB:【診断専用】ラスボード[1kN/m]
DP:【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)[0.9kN/m]
3:【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち[1.9kN/m]

X



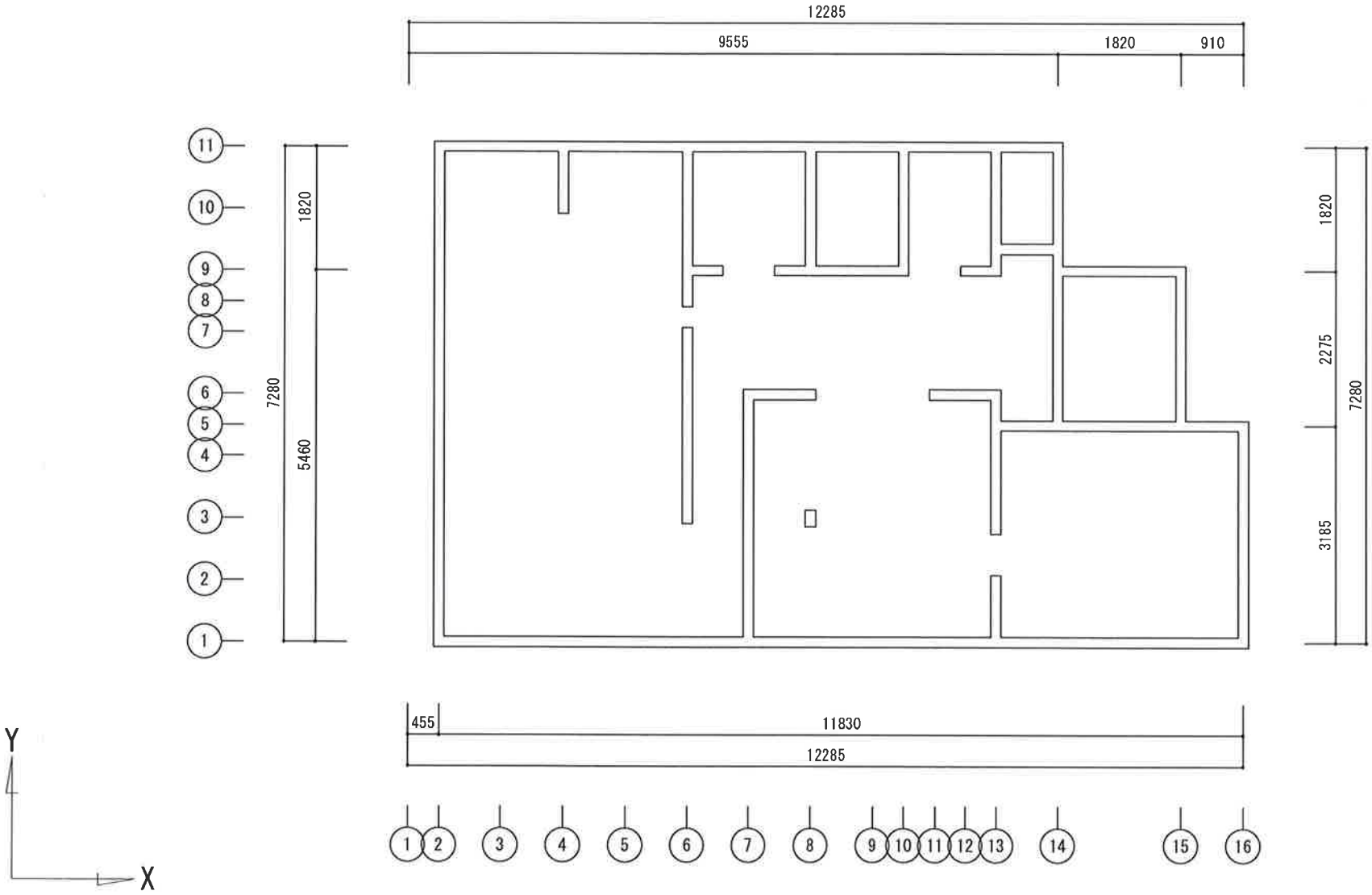
壁基準耐力（kN/m）
赤　3.0未満
黄　3.0～5.0未満
青　5.0～7.0未満
黒　7.0～

SY16-1　本郷町様邸　　診断書作成日時:2016年08月24日14:02　Ver. 1.0.5　　物件ｺｰﾄﾞ:17　　現状　0.20

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

基礎伏図



SY16-1　本郷町様邸　　診断書作成日時:2016年08月24日14:02　Ver. 1.0.5　　物件ｺｰﾄﾞ:17　　現状　0.20

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

必要耐力の算出［重い建物］

	床面積 (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Qr (kN)
2階 1階	28.98 79.91	×(	0.5972 0.5682	+	0.39 0.39	)×	1.0	×	1.0	×	1.00 1.15	×	1.0	=	28.61 88.05

床面積当たりの必要耐力算出根拠

Rf1=２階床面積/１階床面積=0.3627

QKfl2=1.3+0.07/Rf1=1.4930

QKfl1=0.4+0.6*Rf1=0.6176

２階建の２階=0.40*QKfl2=0.5972

２階建の１階=0.92*QKfl1=0.5682

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（2階Ｘ方向）

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
桁行（a）	7	7- 8	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	1.90	x	① 1.00	x	0.91	=	1.72				
	9	2- 4	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	3.40	x	① 0.77	x	1.82	=	4.79				
	9	6- 8	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	2.40	x	① 0.92	x	1.82	=	4.01				
	9	8- 9	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	3.40	x	① 0.77	x	0.91	=	2.39	12.94			
	9	4- 6		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09	1.09	14.03
桁行（中央）													0.00		0.00	0.00
桁行（b）	2	2- 3	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	4.40	x	① 0.71	x	0.91	=	2.85				
	2	7- 9	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	4.40	x	① 0.71	x	1.82	=	5.70	8.55			
	2	3- 7		窓型開口		0.60	x		x	3.00	=			1.80	1.80	10.35
合計													21.49		2.89	24.39

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（2階Ｙ方向）

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
梁間	2	2- 3	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
(イ)			LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	4.40	x	① 0.71	x	0.91	=	2.85				
	2	6- 7	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	2.50	x	① 0.90	x	0.91	=	2.04				
	2	7- 9	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	3.40	x	① 0.77	x	0.91	=	2.39	7.29			
	2	3- 6		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09	1.09	8.39
梁間	4	7- 9	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	① 1.00	x	0.91	=	0.81				
(中央)	5	2- 4	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.00	x	① 1.00	x	1.82	=	3.64				
	5	4- 7	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.00	x	① 1.00	x	1.82	=	3.64	8.09		0.00	8.09
梁間	9	2- 4	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
(ロ)			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	4.40	x	① 0.71	x	1.82	=	5.70				
	9	7- 9	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	3.40	x	① 0.77	x	0.91	=	2.39	8.10			
	9	4- 7		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09	1.09	9.19
合計													23.50		2.18	25.68

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（1階Ｘ方向）

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
桁行	9	8- 9	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	② 1.00	x	0.91	=	0.81				
(a)	11	2- 4	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	4.40	x	③ 0.74	x	1.82	=	5.98				
	11	4- 5	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	2.50	x	③ 0.90	x	0.91	=	2.04				
	11	5- 6	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	3.40	x	③ 0.78	x	0.91	=	2.42	11.28			
	11	6-14		窓型開口		0.60	x		x	3.00	=			1.80	1.80	13.08
桁行	5	14-15	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
(中央)			LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	3.90	x	③ 0.76	x	1.82	=	5.43				
	5	15-16	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	4.40	x	③ 0.74	x	0.91	=	2.99				
	6	7- 8	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	② 1.00	x	0.91	=	0.81				
	6	11-13	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.90	x	③ 1.00	x	0.91	=	1.72	10.97		0.00	10.97
桁行	1	2- 3	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
(b)			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	4.40	x	③ 0.74	x	0.91	=	2.99				
	1	5- 6	DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.50	x	③ 0.90	x	0.91	=	2.04				
	1	6- 7	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	4.40	x	③ 0.74	x	0.91	=	2.99				
	1	7- 8	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	4.40	x	③ 0.74	x	0.91	=	2.99				
	1	11-13	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	2.50	x	③ 0.90	x	0.91	=	2.04				
	1	15-16	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	4.40	x	③ 0.74	x	0.91	=	2.99				
	3	6- 7	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	② 1.00	x	0.91	=	0.81	16.88			
	1	3- 5		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09		
	1	8-11		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09		

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（1階Ｘ方向）

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
桁行	1	13-15		掃き出し型開口		0.30	x		x	2.73	=			0.81	3.00	19.88
合計													39.14		4.80	43.95

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（1階Ｙ方向）

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
梁間	2	1- 2	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
(イ)			LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	4.40	x	③ 0.74	x	0.91	=	2.99				
	4	10-11	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.00	x	③ 1.00	x	0.91	=	1.82	4.81			
	2	2- 9		掃き出し型開口		0.30	x		x	3.00	=			0.90	0.90	5.71
梁間	6	4- 6	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
(中央)			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.90	x	② 1.00	x	0.91	=	1.72				
	6	9-10	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.90	x	③ 1.00	x	0.91	=	1.72				
	6	10-11	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	③ 1.00	x	0.91	=	0.81				
	7	1- 3	LB	【診断専用】ラスボード	1.00	1.00	x	③ 1.00	x	1.82	=	1.82				
	7	3- 6	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	② 1.00	x	1.82	=	1.63				
	8	9-11	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	③ 1.00	x	1.82	=	1.63				
	13	1- 5	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.00	x	③ 1.00	x	3.18	=	6.37				
	13	9-11	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	2.00	x	③ 1.00	x	1.82	=	3.64	19.38		0.00	19.38
梁間	14	9-11	3	【診断専用】筋かい木材30X90以上 釘打ち	1.90											
(ロ)			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	4.50	x	③ 0.74	x	1.82	=	6.09				
	16	1- 2	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DL	胴縁-ラスシートモルタル塗り	1.50	2.50	x	③ 0.90	x	0.91	=	2.04	8.13			
	16	2- 5		窓型開口		0.60	x		x	2.27	=			1.36	1.36	9.50
合計													32.33		2.26	34.59

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

耐力要素の配置等による低減係数ｅＫｆｌ

偏心率

		偏心率	配置による低減係数
２Ｆ	Ｘ方向	0.07	1.0000
	Ｙ方向	0.02	1.0000
１Ｆ	Ｘ方向	0.10	1.0000
	Ｙ方向	0.24	0.7621

	２階		１階	
	X方向の壁	Y方向の壁	X方向の壁	Y方向の壁
剛心座標　ys, xs	3.46	4.02	3.89	7.76
重心座標　yg, xg	3.18	4.09	4.36	6.57
偏心距離　ey, ex	0.27	0.07	0.46	1.19
弾力半径　re･x, re･y	3.50	3.41	4.33	4.88
偏心率　Re･x, Re･y	0.07	0.02	0.10	0.24

2階床面積の計算

ﾌﾞﾛｯｸNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ﾌﾞﾛｯｸ面積 (Ai) (m²)	床面積当たりの重量 (Wi) (kN/m²)	面積X単位重量 (Ai･Wi) (kN)	Ai･Xi (kN･m)	Ai･Xi・Wi	Ai･Yi (kN･m)	Ai･Yi・Wi
1	0.91	0.91	7.28	5.46	28.98	2.00	57.96	118.68	237.37	92.31	184.62
合計					28.98		57.96	118.68	237.37	92.31	184.62

1階床面積の計算

ﾌﾞﾛｯｸNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ﾌﾞﾛｯｸ面積 (Ai) (m²)	床面積当たりの重量 (Wi) (kN/m²)	面積X単位重量 (Ai･Wi) (kN)	Ai･Xi (kN･m)	Ai･Xi・Wi	Ai･Yi (kN･m)	Ai･Yi・Wi
1	0.91	6.37	1.36	8.19	0.82	2.00	1.65	0.94	1.88	6.02	12.05
2	1.36	1.82	7.73	4.09	14.49	2.60	37.67	65.93	171.43	42.85	111.43
3	1.36	4.09	7.73	6.37	14.49	2.60	37.67	65.93	171.43	75.82	197.15
4	1.36	6.37	7.73	8.19	11.59	2.00	23.18	52.74	105.49	84.39	168.79
5	1.36	0.91	7.73	1.82	5.79	2.00	11.59	26.37	52.74	7.91	15.82
6	7.73	4.09	10.46	6.37	6.21	2.00	12.42	56.51	113.03	32.49	64.99
7	7.73	6.37	10.46	8.19	4.96	2.00	9.93	45.21	90.42	36.17	72.34
8	7.73	1.82	10.46	4.09	6.21	2.00	12.42	56.51	113.03	18.36	36.73
9	7.73	0.91	10.46	1.82	2.48	2.00	4.96	22.60	45.21	3.39	6.78
10	10.46	0.91	12.28	1.82	1.65	2.00	3.31	18.83	37.67	2.26	4.52

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

1階床面積の計算

ﾌﾞﾛｯｸNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ﾌﾞﾛｯｸ面積 (Ai) (m²)	床面積当たりの重量 (Wi) (kN/m²)	面積X単位重量 (Ai･Wi) (kN)	Ai･Xi (kN･m)	Ai･Xi・Wi	Ai･Yi (kN･m)	Ai･Yi・Wi
11	10.46	1.82	12.28	4.09	4.14	2.00	8.28	47.09	94.19	12.24	24.49
12	10.46	4.09	12.28	6.37	4.14	2.00	8.28	47.09	94.19	21.66	43.33
13	12.28	1.82	13.19	4.09	2.07	2.00	4.14	26.37	52.74	6.12	12.24
14	12.28	0.91	13.19	1.82	0.82	2.00	1.65	10.54	21.09	1.13	2.26
合計					79.91		177.21	542.75	1164.64	350.88	772.97

重心位置の計算

階	床面積 (m²)	ΣAi･xi	ΣW･x	ΣW (kN)	重心座標 xg (m)	ΣAi･yi	ΣW･y	ΣW (kN)	重心座標 yg (m)
2	28.98	118.68	237.37	57.96	4.09	92.31	184.62	57.96	3.18
1	79.91	542.75	1164.64	177.21	6.57	350.88	772.97	177.21	4.36

2階X方向壁

	Y座標 (m)	Ix	Ix･y	IxX $(y-ys)^2$
1	5.46	2.39	13.09	9.56
2	5.46	4.01	21.94	16.02
3	5.46	4.79	26.18	19.12
4	5.46	1.09	5.96	4.35
5	4.55	1.72	7.86	2.04
6	0.91	5.70	5.19	37.19
7	0.91	2.85	2.59	18.59
8	0.91	1.80	1.63	11.73
合計	29.12	24.39	84.47	118.62

2階Y方向壁

	X座標 (m)	Iy	Iy･x	IyX $(x-xs)^2$
1	7.28	5.70	41.53	60.54
2	7.28	2.39	17.45	25.44

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

2階Y方向壁

	X座標 (m)	Iy	Iy・x	IyX $(x-xs)^2$
3	7.28	1.09	7.94	11.58
4	3.64	3.64	13.24	0.53
5	3.64	3.64	13.24	0.53
6	2.73	0.81	2.23	1.36
7	0.91	2.85	2.59	27.63
8	0.91	2.39	2.18	23.22
9	0.91	1.09	0.99	10.57
10	0.91	2.04	1.86	19.83
合計	35.49	25.68	103.31	181.29

1階X方向壁

	Y座標 (m)	Ix	Ix・y	IxX $(y-ys)^2$
1	8.19	2.42	19.89	44.72
2	8.19	2.04	16.76	37.70
3	8.19	5.98	49.02	110.22
4	8.19	1.80	14.74	33.14
5	6.37	0.81	5.21	5.00
6	4.55	0.81	3.72	0.34
7	4.55	1.72	7.86	0.73
8	4.09	5.43	22.27	0.20
9	4.09	2.99	12.25	0.11
10	2.73	0.81	2.23	1.11
11	0.91	2.04	1.86	18.29
12	0.91	2.99	2.72	26.73
13	0.91	2.99	2.72	26.73
14	0.91	2.04	1.86	18.29
15	0.91	2.99	2.72	26.73
16	0.91	2.99	2.72	26.73
17	0.91	1.09	0.99	9.75
18	0.91	1.09	0.99	9.75
19	0.91	0.81	0.74	7.31
合計	67.34	43.95	171.35	403.67

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

1階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly･x	lyX $(x-xs)^2$
1	13.19	2.04	27.01	60.43
2	13.19	1.36	18.01	40.28
3	10.46	6.09	63.74	44.49
4	9.55	6.37	60.86	20.47
5	9.55	3.64	34.78	11.69
6	6.82	1.63	11.17	1.43
7	5.91	1.82	10.76	6.20
8	5.91	1.63	9.68	5.58
9	5.00	1.72	8.65	13.14
10	5.00	0.81	4.09	6.22
11	5.00	1.72	8.65	13.14
12	3.18	1.82	5.79	38.12
13	1.36	2.99	4.08	122.48
14	1.36	0.90	1.22	36.83
合計	95.55	34.59	268.56	420.59

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

劣化度による低減係数　ｄＫ

部位		材料、部材等	劣化事象	存在点数 10年未満	存在点数 10年以上	劣化点数
屋根　葺き材		金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	②	②
		瓦･スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋		樋･呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	②
		縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	②
外壁仕上げ		木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	④	④
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
		モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体			水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	1	1	1
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
		外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ･剥離がある	1	1	1
	床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	1	1
内壁	一般室	内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	②	②
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	②	②
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある			
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	②	②
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	①	①
	床下		基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	②
合　計				0	19	19

劣化度による低減係数　ｄＫ	1－(劣化点数/存在点数)＝	0.7000

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

SY16-1　本郷町　様　補強案２

2016年10月04日11:18
一般診断・補強案２

補 強 提 案 書

【耐震診断法の適用範囲について】
・本ソフトは、3階建てまでの在来軸組構法、伝統的構法、枠組壁工法の木造住宅、
　立面的な混構造（1階部分が鉄骨造または鉄筋コンクリート造）の建物の木造部分を想定して作成されています。
※耐震診断法は、比較的矩形な総2・3階建てを想定して作成されています。そのため、2階が二つに分かれている建物や、
　平面形状がコの字型など、著しく不整形な建物について、本プログラムで診断することは不適切です。
※下記の建物は適用範囲外です。
　丸太組構法、旧38条認定および型式適合認定によるプレハブ工法住宅、平面的な混構造、スキップフロア
　学校校舎、体育館、幼稚園舎などの大規模木造建築物
【本ソフトの適用範囲について】
・本ソフトでの耐震診断は、階高3.4m程度までの建物について適用して下さい。

【結果を読むに当たっての注意事項】
・本診断書における在来軸組構法・枠組壁工法診断時の「その他の耐震要素の耐力Qe」は、有開口壁長より算出しています。
・N値計算の結果については日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の評価対象外であり、設計者が
　自身の責任において用いるものとなります。

一級建築士
岡本　和久
調査日 28年8月8日

総合評価

◆建物概要

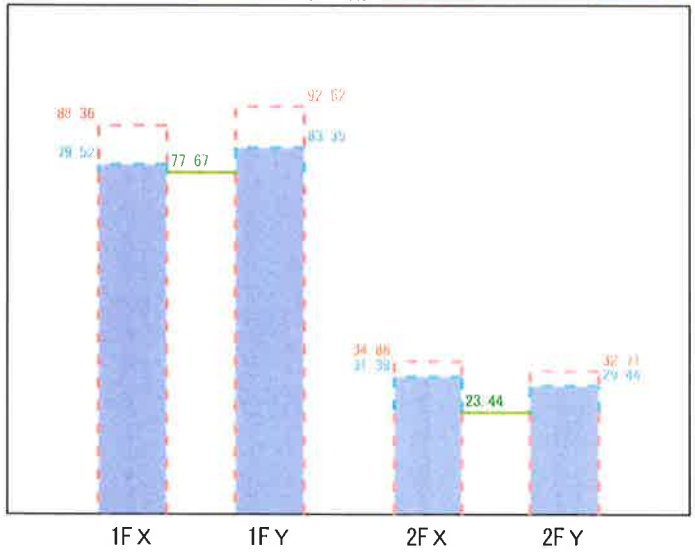
建物名称	SY16-1　本郷町　様邸		
建築地	富山県富山市本郷町27－14	建物階数	2
備考		診断の方法	方法１
構法	在来軸組構法	低減係数E	偏心率
１階構造種別	木造	軟弱地盤割増係数	1.0
外壁材種	※胴縁-窯業系サイディング張り	竣工年月	1979年2月(昭和54年)
基礎仕様	無筋コンクリート	築年数	築10年以上
柱頭柱脚接合部	Ⅰ平12建告1460号に適合する仕様	建物重量	軽い
下屋部低減係数	平屋建てもしくは最上階として計算する	混構造割増係数	1.0
必要耐力計算表	精算法（各階の床面積比を考慮した方法）	積雪	1.5
床仕様	Ⅰ　合板(想定床倍率1.0以上)	地域係数Z	1.0
床面積 ２階	28.98㎡　(8.76坪)	形状割増 ２階	6m以上
床面積 １階	81.15㎡　(24.54坪)	短辺の長さ １階	4m以上6m未満

■上部構造の評価

階	方向	壁･柱の耐力 Qu (kN)	配置 eKfl	劣化度 dK	保有耐力(kN) edQu=Qu･eKfl･dK	必要耐力 Qr(kN)	評点 edQu/Qr	判定
2F	X	34.88	1.0000	0.9000	31.39	23.44	1.33	一応倒壊しない
	Y	32.71	1.0000	0.9000	29.44	23.44	1.25	一応倒壊しない
1F	X	88.36	1.0000	0.9000	79.52	77.67	1.02	一応倒壊しない
	Y	92.62	1.0000	0.9000	83.35	77.67	1.07	一応倒壊しない

あなたの家の強さ(保有･必要耐力)

単位：ｋＮ
Qu　必要耐力　壁･柱の耐力　保有耐力



総合評価

上部構造評点のうち最低の値	評点	判定
1.02	1.5以上	◎ 倒壊しない
	1.0以上～1.5未満	○ 一応倒壊しない
	0.7以上～1.0未満	△ 倒壊する可能性がある
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い

無積雪時の評点	1.79	＞	積雪時の評点	1.02

注意事項：地盤・基礎

地盤･地形･基礎	対策	注意事項
地盤:よい・普通		特に問題はありません。
地形:平坦		特に問題はありません。
基礎:無筋コンクリート	健全	アンカーボルト、引き寄せ金物が十分な性能を発揮できない場合があります。

SY16-1　本郷町様邸　　診断書作成日時:2016年10月04日11:18　Ver. 1.0.5　　物件ｺｰﾄﾞ:17　　補強案２ 0.20→1.02

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

地盤・基礎

地盤	対策	記入欄	注意事項
よい/普通		○	特に問題はありません。
悪い			
非常に悪い（埋立地、盛り土、軟弱地盤）	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

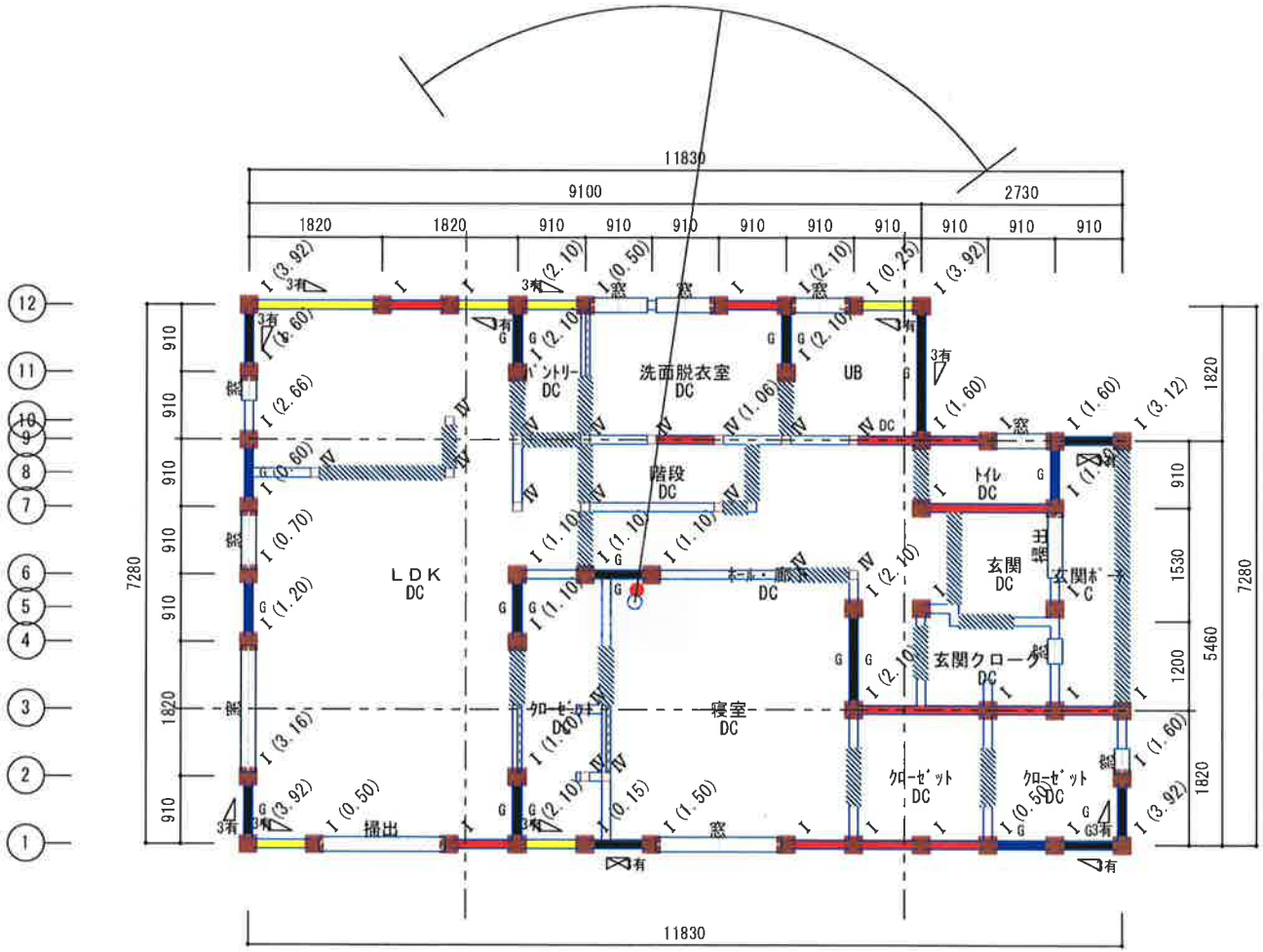
地形	対策	記入欄	注意事項
平坦・普通		○	特に問題はありません。
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積		
	特別な対策を行っていない		

基礎形式		記入欄	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全		・アンカーボルト、引き寄せ金物が十分な性能を発揮できない場合があります。 こうした箇所には補強が必要です。 ・地震時に、基礎が曲げ破壊し上部構造の性能を十分に発揮できない可能性があります。 鉄筋コンクリート基礎などを添えて基礎を補強する必要があります。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全	○	
	軽微なひび割れが生じている		
	ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固め・底盤		
	足固めなし		
その他（ブロック基礎等）			

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

1階平面図



凡例
DC:胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)[1.1kN/m]
G:構造用合板(耐力壁仕様)[5.2kN/m]
Y:※胴縁-窯業系サイディング張り[1.3kN/m]
3有:筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品[2.4kN/m]
3有:筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品[4.8kN/m]

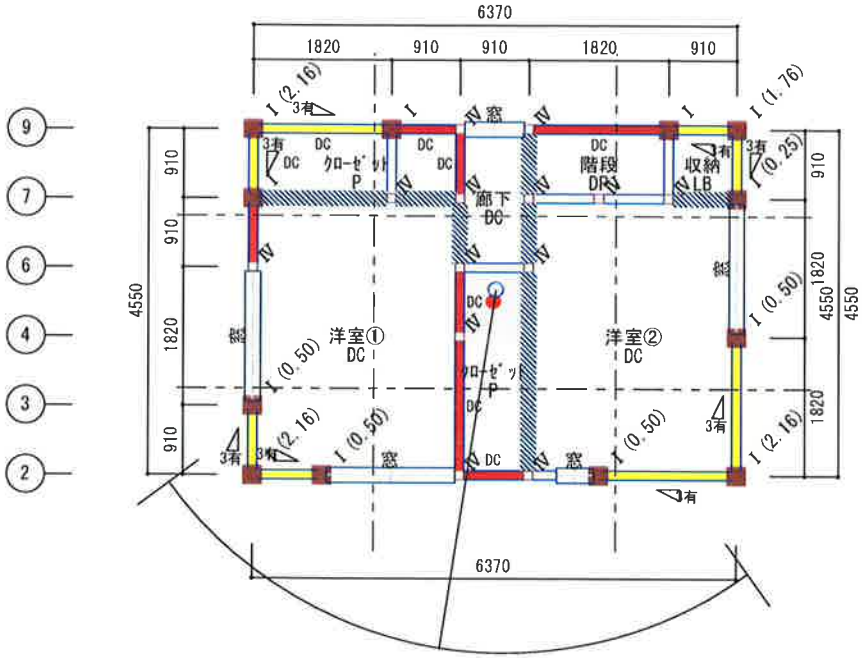
壁基準耐力（kN/m）
赤 3.0未満
黄 3.0～5.0未満
青 5.0～7.0未満
黒 7.0～

SY16-1 本郷町様邸　　診断書作成日時:2016年10月04日11:18 Ver. 1.0.5　　物件ｺｰﾄﾞ:17　　補強案２ 0.20→1.02

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
N値計算の結果については日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の評価対象外であり、設計者が自身の責任において用いるものとなります。

一般財団法人 日本建築防災協会 木耐博士N P評価13-W

２階平面図



Y

凡例
Y：※胴縁-窯業系サイディング張り[1.3kN/m]
DC：胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)[1.1kN/m]
3有：筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品[2.4kN/m]

X

1 2 3 4 5 6 8 9

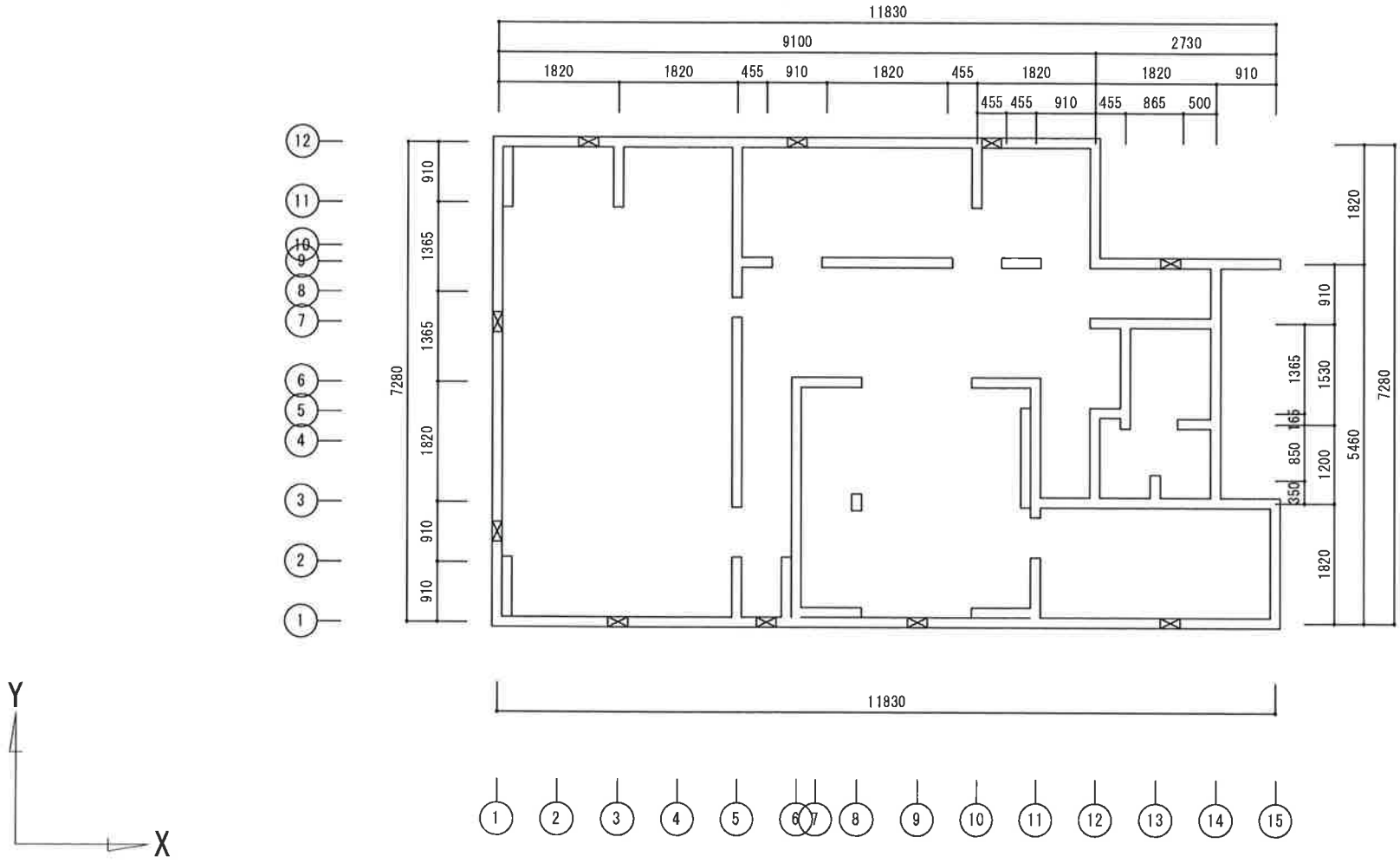
壁基準耐力（kN/m）
赤　3.0未満
黄　3.0～5.0未満
青　5.0～7.0未満
黒　7.0～

SY16-1　本郷町様邸　　診断書作成日時：2016年10月04日11:18　Ver. 1.0.5　　物件ｺｰﾄﾞ：17　　補強案２ 0.20→1.02

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
N値計算の結果については日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の評価対象外であり、設計者が自身の責任において用いるものとなります。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

基礎伏図



SY16-1　本郷町様邸　　診断書作成日時:2016年10月04日11:18　Ver. 1.0.5　　物件ｺｰﾄﾞ:17　　補強案２ 0.20→1.02

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

必要耐力の算出［軽い建物］

	床面積 (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Qr (kN)
2階 1階	28.98 81.15	×(	0.4188 0.4422	＋	0.39 0.39	)×	1.0	×	1.0	×	1.00 1.15	×	1.0	＝	23.44 77.67

床面積当たりの必要耐力算出根拠

Rf1=２階床面積/１階床面積=0.3571

QKfl2=1.3+0.07/Rf1=1.4960

QKfl1=0.4+0.6*Rf1=0.6143

２階建の２階=0.28*QKfl2=0.4188

２階建の１階=0.72*QKfl1=0.4422

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（2階Ｘ方向）

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
桁行（a）	9	1- 3	3有 DC Y	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) ※胴縁-窯業系サイディング張り	2.40 1.10 1.30	4.80	x	① 1.00	x	1.82	=	8.73				
	9	3- 4	Y DC	※胴縁-窯業系サイディング張り 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.30 1.10	2.40	x	① 0.92	x	0.91	=	2.00				
	9	5- 8	Y DC	※胴縁-窯業系サイディング張り 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.30 1.10	2.40	x	① 0.92	x	1.82	=	4.01				
	9	8- 9	3有 Y	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品 ※胴縁-窯業系サイディング張り	2.40 1.30	3.70	x	① 1.00	x	0.91	=	3.36	18.13			
	9	4- 5		窓型開口		0.60	x		x	0.91	=			0.54	0.54	18.67
桁行（中央）													0.00		0.00	0.00
桁行（b）	2	1- 2	3有 Y DC	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品 ※胴縁-窯業系サイディング張り 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	2.40 1.30 1.10	4.80	x	① 1.00	x	0.91	=	4.36				
	2	4- 5	DC Y	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) ※胴縁-窯業系サイディング張り	1.10 1.30	2.40	x	① 0.92	x	0.91	=	2.00				
	2	6- 9	3有 DC Y	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) ※胴縁-窯業系サイディング張り	2.40 1.10 1.30	4.80	x	① 1.00	x	1.82	=	8.73	15.11			
	2	2- 4		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09	1.09	16.20
合計													33.24		1.63	34.88

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
※は木造住宅の耐震診断と補強方法に記載された工法ではありません。診断者に確認してください。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（2階Ｙ方向）

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
梁間	1	2- 3	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
(イ)			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	4.80	x	① 1.00	x	0.91	=	4.36				
	1	6- 7	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.40	x	① 0.92	x	0.91	=	2.00				
	1	7- 9	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	x	① 1.00	x	0.91	=	4.36	10.74			
	1	3- 6		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09	1.09	11.83
梁間	4	2- 4	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
(中央)			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	① 0.96	x	1.82	=	3.84				
	4	4- 6	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	① 0.96	x	0.91	=	1.92				
	4	7- 9	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	① 0.96	x	0.91	=	1.92	7.68		0.00	7.68
梁間	9	2- 4	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
(ロ)			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	x	① 1.00	x	1.82	=	8.73				
	9	7- 9	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	3.70	x	① 1.00	x	0.91	=	3.36	12.10			
	9	4- 7		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09	1.09	13.19
合計													30.53		2.18	32.71

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
※は木造住宅の耐震診断と補強方法に記載された工法ではありません。診断者に確認してください。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（1階Ｘ方向）

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
桁行	9	8- 9	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
(a)			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	② 1.00	x	0.91	=	2.00				
	9	11-12	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	③ 0.96	x	0.91	=	1.92				
	9	12-13	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07				
	9	14-15	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	4.80											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	7.40	x	③ 0.82	x	0.91	=	5.55				
	12	1- 3	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	4.80	x	③ 0.83	x	1.82	=	7.25				
	12	3- 4	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07				
	12	4- 5	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	x	③ 0.83	x	0.91	=	3.62				
	12	5- 6	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	4.80	x	③ 0.83	x	0.91	=	3.62				
	12	9-10	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07				
	12	11-12	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	3.70	x	③ 0.85	x	0.91	=	2.88	33.09			
	9	13-14		窓型開口		0.60	x		x	0.91	=			0.54		
	12	10-11		窓型開口		0.60	x		x	0.91	=			0.54	1.09	34.18
桁行	6	6- 8	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
(中央)			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	10.00	x	② 0.90	x	0.91	=	8.19				
	7	12-14	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	③ 0.97	x	1.82	=	3.90	12.09		0.00	12.09

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
※は木造住宅の耐震診断と補強方法に記載された工法ではありません。診断者に確認してください。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（1階Ｘ方向）

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
桁行	1	1- 2	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
(b)			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	x	③ 0.83	x	0.91	=	3.62				
	1	4- 5	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07				
	1	5- 6	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	4.80	x	③ 0.83	x	0.91	=	3.62				
	1	6- 8	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	4.80											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	7.20	x	③ 0.82	x	0.91	=	5.40				
	1	10-11	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07				
	1	11-12	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07				
	1	12-13	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07				
	1	13-14	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	6.50	x	③ 0.82	x	0.91	=	4.87				
	1	14-15	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	8.90	x	③ 0.82	x	0.91	=	6.68				
	3	11-13	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	③ 0.97	x	1.82	=	3.90				
	3	13-14	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	③ 0.97	x	0.91	=	1.95				
	3	14-15	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.40	x	③ 0.95	x	0.91	=	2.07	40.44			
	1	2- 4		掃き出し型開口		0.30	x		x	1.82	=			0.54		
	1	8-10		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09	1.63	42.08
合計													85.63		2.73	88.36

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
※は木造住宅の耐震診断と補強方法に記載された工法ではありません。診断者に確認してください。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

壁・柱の耐力　Ｑｕ（1階Ｙ方向）

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
梁間	1	1- 2	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
(イ)			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	8.90	x	③ 0.82	x	0.91	=	6.68				
	1	4- 6	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	6.50	x	② 0.90	x	0.91	=	5.36				
	1	7- 9	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	6.50	x	② 0.90	x	0.91	=	5.36				
	1	11-12	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	8.90	x	③ 0.82	x	0.91	=	6.68	24.08			
	1	2- 4		窓型開口		0.60	x		x	1.82	=			1.09		
	1	6- 7		窓型開口		0.60	x		x	0.91	=			0.54	1.63	25.72
梁間	5	1- 2	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
(中央)			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	10.00	x	③ 0.82	x	0.91	=	7.50				
	5	4- 6	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	10.00	x	② 0.90	x	0.91	=	8.19				
	5	11-12	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	10.00	x	③ 0.82	x	0.91	=	7.50				
	10	11-12	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	10.00	x	③ 0.82	x	0.91	=	7.50				
	11	3- 5	G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	10.00	x	③ 0.82	x	1.36	=	11.26	41.97		0.00	41.97
梁間	12	9-12	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
(ロ)			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	8.90	x	③ 0.82	x	1.82	=	13.36				
	14	7- 9	Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	6.50	x	③ 0.82	x	0.91	=	4.87				
	15	1- 2	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40											
			Y	※胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			G	構造用合板(耐力壁仕様)	5.20	8.90	x	③ 0.82	x	0.91	=	6.68	24.92		0.00	24.92
合計													90.98		1.63	92.62

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
※は木造住宅の耐震診断と補強方法に記載された工法ではありません。診断者に確認してください。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

耐力要素の配置等による低減係数ｅＫｆｌ

偏心率

		偏心率	配置による低減係数
２Ｆ	Ｘ方向	0.04	1.0000
	Ｙ方向	0.00	1.0000
１Ｆ	Ｘ方向	0.03	1.0000
	Ｙ方向	0.00	1.0000

	２階		１階	
	X方向の壁	Y方向の壁	X方向の壁	Y方向の壁
剛心座標　ys, xs	3.34	4.12	4.17	6.14
重心座標　yg, xg	3.18	4.09	4.33	6.17
偏心距離　ey, ex	0.16	0.02	0.16	0.02
弾力半径　re･x, re･y	3.53	3.64	5.15	5.03
偏心率　Re･x, Re･y	0.04	0.00	0.03	0.00

2階床面積の計算

ﾌﾞﾛｯｸNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ﾌﾞﾛｯｸ面積 (Ai) (m²)	床面積当たりの重量 (Wi) (kN/m²)	面積X単位重量 (Ai･Wi) (kN)	Ai･Xi (kN･m)	Ai･Xi・Wi	Ai･Yi (kN･m)	Ai･Yi・Wi
1	0.91	0.91	7.28	5.46	28.98	1.43	41.44	118.68	169.72	92.31	132.00
合計					28.98		41.44	118.68	169.72	92.31	132.00

1階床面積の計算

ﾌﾞﾛｯｸNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ﾌﾞﾛｯｸ面積 (Ai) (m²)	床面積当たりの重量 (Wi) (kN/m²)	面積X単位重量 (Ai･Wi) (kN)	Ai･Xi (kN･m)	Ai･Xi・Wi	Ai･Yi (kN･m)	Ai･Yi・Wi
1	0.91	0.91	7.28	1.82	5.79	1.43	8.28	23.73	33.94	7.91	11.31
2	0.91	1.82	7.28	6.37	28.98	2.15	62.31	118.68	255.17	118.68	255.17
3	0.91	6.37	7.28	8.19	11.59	1.43	16.57	47.47	67.88	84.39	120.69
4	7.28	1.82	10.01	6.37	12.42	1.43	17.76	107.38	153.55	50.86	72.73
5	7.28	6.37	10.01	8.19	4.96	1.43	7.10	42.95	61.42	36.17	51.72
6	7.28	0.91	10.01	1.82	2.48	1.43	3.55	21.47	30.71	3.39	4.84
7	10.01	0.91	12.74	1.82	2.48	1.43	3.55	28.25	40.41	3.39	4.84
8	10.01	1.82	12.74	6.37	12.42	1.43	17.76	141.29	202.05	50.86	72.73
合計					81.15		136.91	531.26	845.16	355.68	594.08

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

重心位置の計算

階	床面積 (m²)	ΣAi・xi	ΣW・x	ΣW (kN)	重心座標 xg (m)	ΣAi・yi	ΣW・y	ΣW (kN)	重心座標 yg (m)
2	28.98	118.68	169.72	41.44	4.09	92.31	132.00	41.44	3.18
1	81.15	531.26	845.16	136.91	6.17	355.68	594.08	136.91	4.33

2階X方向壁

	Y座標 (m)	Ix	Ix・y	IxX $(y-ys)^2$
1	5.46	4.01	21.94	17.95
2	5.46	3.36	18.38	15.04
3	5.46	8.73	47.69	39.03
4	5.46	2.00	10.97	8.97
5	5.46	0.54	2.98	2.43
6	0.91	8.73	7.94	51.84
7	0.91	2.00	1.82	11.92
8	0.91	4.36	3.97	25.92
9	0.91	1.09	0.99	6.48
合計	30.94	34.88	116.72	179.63

2階Y方向壁

	X座標 (m)	Iy	Iy・x	IyX $(x-xs)^2$
1	7.28	8.73	63.59	87.21
2	7.28	3.36	24.51	33.61
3	7.28	1.09	7.94	10.90
4	3.64	3.84	13.99	0.88
5	3.64	1.92	6.99	0.44
6	3.64	1.92	6.99	0.44
7	0.91	2.00	1.82	20.70
8	0.91	4.36	3.97	45.01
9	0.91	4.36	3.97	45.01
10	0.91	1.09	0.99	11.25
合計	36.40	32.71	134.81	255.50

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

1階X方向壁

	Y座標 (m)	lx	lx・y	lxX $(y-ys)^2$
1	8.19	7.25	59.38	116.66
2	8.19	3.62	29.69	58.33
3	8.19	2.07	16.99	33.38
4	8.19	3.62	29.69	58.33
5	8.19	2.07	16.99	33.38
6	8.19	2.88	23.64	46.45
7	8.19	0.54	4.47	8.78
8	6.37	2.07	13.21	9.96
9	6.37	1.92	12.24	9.22
10	6.37	2.00	12.75	9.61
11	6.37	0.54	3.47	2.62
12	6.37	5.55	35.38	26.67
13	5.46	3.90	21.31	6.40
14	4.55	8.19	37.26	1.12
15	2.73	1.95	5.32	4.09
16	2.73	2.07	5.66	4.35
17	2.73	3.90	10.65	8.19
18	0.91	3.62	3.29	38.73
19	0.91	2.07	1.88	22.17
20	0.91	3.62	3.29	38.73
21	0.91	2.07	1.88	22.17
22	0.91	2.07	1.88	22.17
23	0.91	6.68	6.08	71.39
24	0.91	4.87	4.44	52.14
25	0.91	1.09	0.99	11.66
26	0.91	0.54	0.49	5.83
27	0.91	2.07	1.88	22.17
28	0.91	5.40	4.91	57.75
合計	117.39	88.36	369.26	802.56

1階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly・x	lyX $(x-xs)^2$
1	12.74	6.68	85.12	290.21

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

1階Y方向壁

	X座標 (m)	Iy	Iy・x	IyX $(x-xs)^2$
2	11.83	4.87	57.72	157.46
3	10.01	13.36	133.76	199.15
4	9.10	11.26	102.47	98.03
5	8.19	7.50	61.48	31.25
6	4.55	8.19	37.26	20.95
7	4.55	7.50	34.15	19.20
8	4.55	7.50	34.15	19.20
9	0.91	5.36	4.87	147.15
10	0.91	5.36	4.87	147.15
11	0.91	6.68	6.08	183.42
12	0.91	6.68	6.08	183.42
13	0.91	0.54	0.49	14.98
14	0.91	1.09	0.99	29.97
合計	70.98	92.62	569.57	1541.63

本書は、一般財団法人　日本建築防災協会発行の「2012年改訂版　木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人　日本建築防災協会　木耐博士N　P評価13-W

劣化度による低減係数 ｄＫ

部位		材料、部材等	劣化事象	存在点数 10年未満	存在点数 10年以上	劣化点数
屋根 葺き材		金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	②	2
		瓦･スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋		樋･呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	2
		縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	2
外壁 仕上げ		木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	④	4
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
		モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体			水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	1	1	1
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
		外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ･剥離がある	1	1	1
	床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	1	1
内壁	一般室	内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	②	2
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	②	2
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある			
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	②	2
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	①	1
	床下		基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	2
合 計				0	19	0

劣化度による低減係数 ｄＫ	1－(劣化点数/存在点数)＝	0.9000

・補修後の診断における劣化低減係数の上限は0.9（現状が0.9を上回る場合は、その値）となります。

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般財団法人 日本建築防災協会 木耐博士N P評価13-W